

仙台市交通事業経営計画個別管理・評価シート

【取組み概要】

番号	3-1-1	分類	共通	担当課	経営企画課、業務課、輸送課、営業課	戦略	まちづくりへの貢献	年度	R3
取組	公共交通を中心とした交通体系の充実			個別取組	公共交通の利用促進施策との連携				
目的	仙台市の交通政策の指針である「せんだい都市交通プラン」(※1)における「モビリティ・マネジメント等(せんだいスマート)の推進」に係る取組みと連携し、過度に自家用車に依存しない公共交通を中心とした都市交通の充実に貢献する。								
内容	・転入者、大学生、小学生等ターゲットに合わせた情報発信や、路線図や運行系統図、時刻表の表記の改善を図るとともに「どこバス仙台」のサービス拡張を進める等、バスに不慣れな方々が利用しやすくなるよう環境整備を実施し、モビリティ・マネジメント(※2)を推進する。 ・パークアンドライド(※3)、パークアンドバスライド(※4)を実施する。								
年次計画	R3	R4	R5	R6	R7				
予定	転入者、大学生、小学生等ターゲットに合わせた情報発信の検討・実施								
	現在の各情報提供物(路線図や運行系統図、時刻表)の表記の見直し・								
	どこバス仙台のサービス拡張の検討								
	パークアンドライド・パークアンドバスライドの実施								
実績	・ウェブサイト新設								
	どこバス仙台のサービス拡張の検討								
	パークアンドライドを実施								

【年度計画】

目標と実施方法	・モビリティ・マネジメントの推進に向けたページを交通局ウェブサイトに新設し、せんだいスマートの取組み等の紹介を行う。 ・バスに不慣れな方々でもバスをご利用いただけるように、バス路線図及び運行系統図、時刻表、どこバス仙台の改善を図る。 ・パークアンドライド、パークアンドバスライドを実施するとともに交通局ウェブサイトで空き状況や利用者募集等を行う。	数値目標	パークアンドバスライドについて、R2年度の貸付料を上回る。
---------	---	------	-------------------------------

【年度評価】

評価	○	進捗状況・評価の説明	・経営改善に向けた取組みを紹介するサイト(※5)を新設。その中で、モビリティ・マネジメントの取組みも記載した。 ・次回ダイヤ改正時から、時刻表へどこバス仙台のQRコードを掲載するように整理できた。 ・パークアンドバスライドの周知を図るため、交通局ウェブサイトで空き状況等をお知らせしたほか、営業所へのPRポスター掲出や情報誌S-Styleへの募集記事掲載など新たな取組みを進めたが、数値目標を達成することができなかった。	数値目標の達成状況	パークアンドバスライドについて、R2年度の貸付料を上回ることができなかった。 ・R2年度 38千円 ・R3年度 25千円
課題と改善策	モビリティ・マネジメントについては、効果的なターゲット層とより分かりやすい情報発信方法を検討する必要がある。 どこバス仙台については、令和4年度に実施するモニタアンケートの内容を踏まえて、サービス拡張等を検討する。 パークアンドバスライドについては、利用者数の増加を図るため、より効果的な周知方法等を検討する必要がある。				

【備考】

- ※1 「せんだい都市交通プラン」については、下記リンクよりご確認ください。
[仙台市ウェブサイト\[せんだい都市交通プラン\]\(外部サイトを表示します\)](#)
- ※2 「モビリティ・マネジメント」とは、1人1人のモビリティ(移動)が、社会的にも個人的にも望ましい方向(過度な自動車利用から公共交通等を適切に利用する等)に変化することを促す、コミュニケーションを中心とした交通政策のことです。
- ※3 「パークアンドライド」とは、自動車を郊外の鉄道駅等の周辺に停めて、鉄道に乗り換えて目的地に向かうというものです。
 仙台市交通局では、泉中央駅周辺及び長町南駅周辺で実施しています。
- ※4 「パークアンドバスライド」とは、自動車を郊外の専用駐車場に停めて、バスに乗り換えて目的地に向かうというものです。
 仙台市交通局では、市バス霞の目営業所で実施しています。
[仙台市ウェブサイト\[パークアンドライド・パークアンドバスライドについて\]\(外部サイトを表示します\)](#)
[仙台市交通局ウェブサイト\[パークライド\]](#)
[仙台市交通局ウェブサイト\[パーク&バスライドのご利用について\]](#)
- ※5 経営改善に向けた取組みを紹介するサイトについては、下記リンクよりご確認ください。
[仙台市交通局ウェブサイト\[経営改善に向けた取組みについて\]](#)

仙台市交通事業経営計画個別管理・評価シート

【取組み概要】

番号	3-1-2	分類	共通	担当課	経営企画課、業務課、輸送課、営業課	戦略	まちづくりへの貢献			年度	R3
取組	公共交通を中心とした交通体系の充実				個別取組	都心の回遊促進施策との連携					
目的	仙台市の交通政策の指針である「せんだい都市交通プラン」(※1)における「公共交通を利用した都心の回遊の促進」に係る取組みと連携し、賑わい創出に向けた都心交通環境の再構築に貢献する。										
内容	都心の回遊促進施策と連携し、都心部における市バス・地下鉄の均一運賃制度の検討、実施やPR等を行う。										
年次計画	R3	R4	R5	R6	R7						
予定	都心エリア限定の一日乗車券の販売検討・実施										
	市中心部地下鉄均一運賃(210円)の実施										
	120円パッ区の実施										
	定禅寺通活性化事業、青葉通再整備事業について関係機関と連携										
実績	120円パッ区の継続実施										
	120円パッ区一日乗車券の実証実験の実施										
	市中心部地下鉄均一運賃(210円)の継続実施										

【年度計画】

目標と実施方法	- 仙台市と連携し、都心バス均一運賃エリアの一日乗車券等の新券種を作製・販売する。また、仙台MaaS(※2)への搭載を併せて検討する。 - 市中心部地下鉄均一運賃(210円)(※3)の継続 120円パッ区(※3)の継続、都市整備局と連携し120円パッ区のリーフレット作成 - 定禅寺通活性化事業・青葉通再整備計画について、基本構想や再整備方針策定のため、協議会やワーキンググループに参画し、交通処理や実現の可能性について関係機関とともに検討を行う。	数値目標	120円パッ区でR2年度の利用人数を上回る。
---------	---	------	------------------------

【年度評価】

評価	◎	進捗状況・評価の説明	120円パッ区と市中心部地下鉄均一運賃(210円)を継続し、都心部における公共交通利用促進を図った。 - 新券種として「120円パッ区一日乗車券」を仙台MaaSに搭載し、実証実験を実施した。 120円パッ区の利用促進のため、まちづくり政策局、都市整備局、宮城交通と連携し、区域内バス停の装飾を実施した。 - 定禅寺通活性化事業・青葉通再整備計画について、協議会やワーキンググループに参加し、定禅寺通活性化事業に関しては、アクセス性の向上に資することを目的とした60番のりばアップデートプロジェクトに協力した。(周辺バス停との差別化を実施)	数値目標の達成状況	120円パッ区の利用人数がR2年度に比べて約2.6%増加した。 ・R2年度…1,071千人 ・R3年度…1,099千人
課題と改善策	更なる利用促進策の検討、実施やPR等を行う必要があることから、関係局等と連携して取組む。				

【備考】

※1 「せんだい都市交通プラン」については、下記リンクよりご確認ください。 仙台市ウェブサイト「せんだい都市交通プラン」(外部サイトを表示します)	
※2 「仙台MaaS」とは、仙台市が2021年10月より実施予定としている、スマートフォン等で目的地までのルートや移動手段、さらには街なかの飲食店・イベント等の検索・予約・決済に至るまでを一括して行える仕組みです。詳しくは、下記リンクよりご確認ください。 [仙台MaaS](外部サイトを表示します) 仙台市ウェブサイト「仙台MaaS推進」(外部サイトを表示します)	
※3 「市中心部地下鉄均一運賃(210円)」及び「120円パッ区」については、下記リンクよりご確認ください。 仙台市交通局ウェブサイト「お得な運賃制度・乗車券」	

仙台市交通事業経営計画個別管理・評価シート

【取組み概要】

番号	3-1-3	分類	共通	担当課	経営企画課、業務課、営業課	戦略	まちづくりへの貢献			年度	R3
取組	公共交通を中心とした交通体系の充実				個別取組	フィーダーバスの利便性向上					
目的	仙台市の交通政策の指針である「せんだい都市交通プラン」(※1)における「フィーダーバス(※2)の利便性向上」に係る取組みと連携し、質の高い公共交通を中心とした都市交通の充実に貢献する。										
内容	東西線結節駅周辺バス均一運賃制度(※3)を継続する。										
年次計画	R3	R4	R5	R6	R7						
予定	東西線結節駅周辺バス均一運賃制度の継続										
実績	東西線結節駅周辺バス均一運賃制度の継続実施										

【年度計画】

目標と実施方法	仙台市と連携し、東西線結節駅周辺バス均一運賃制度を継続する。	数値目標	
---------	--------------------------------	------	--

【年度評価】

評価	◎	進捗状況・評価の説明	東西線結節駅周辺バス均一運賃制度を継続している。	数値目標の達成状況	
課題と改善策					

【備考】

※1 「せんだい都市交通プラン」については、下記リンクよりご確認ください。 仙台市ウェブサイト[せんだい都市交通プラン](外部サイトを表示します)
※2 「フィーダーバス」とは、交通網において、幹線と接続して支線の役割をもって運行される路線バスのことです。
※3 「東西線結節駅周辺バス均一運賃制度」については、下記リンクよりご確認ください。 仙台市交通局ウェブサイト[お得な運賃制度・乗車券]

仙台市交通事業経営計画個別管理・評価シート

【取組み概要】

番号	3-1-4	分類	共通	担当課	輸送課		戦略	まちづくりへの貢献		年度	R3
取組	公共交通を中心とした交通体系の充実			個別取組	地域の移動手段の確保に向けた取組みとの連携						
目的	仙台市の交通政策の指針である「せんだい都市交通プラン」(※1)における「地域交通による地域が主体となった移動手段の確保・充実」に係る取組みと連携し、地域交通の導入を進めることで、地域の移動手段の確保に向けた取組みを推進する。										
内容	仙台市都市整備局と連携し、地域の実情に応じた地域交通への転換に向けた取組みを推進する。										
年次計画	R3	R4	R5	R6	R7						
予定	・地域公共交通計画策定に参画	地域交通の導入・推進									
実績	・地域公共交通計画策定に参画 ・各地区で開催された意見交換会に参加										

【年度計画】

目標と実施方法	仙台市が策定する地域公共交通計画の策定に参画し、地域交通に転換する地域の選定に協力するとともに、選定された地域における地域交通の推進に向けた取組みを仙台市都市整備局と連携して進める。	数値目標	
---------	---	------	--

【年度評価】

評価	◎	進捗状況・評価の説明	予定通りに進んでいる。 仙台市が策定する地域公共交通計画の策定に参画した。地域の実情に適した移動手段の確保・充実に向け、仙台市都市整備局と連携し地域交通への転換を図っている。	数値目標の達成状況	
課題と改善策	地域交通の導入により既存バス・タクシー事業者との競合が予想され、各事業者の採算性低下を招きトラブルを引き起こし兼ねないことから、事前に既存事業者と密に調整を図り、実施後の運営に支障を来すことがないよう丁寧に段取りを組む必要がある。				

【備考】

※1 「せんだい都市交通プラン」については、下記リンクよりご確認ください。 仙台市ウェブサイト[せんだい都市交通プラン](外部サイトを表示します)
--